



総会に先立ち挨拶する山崎会長

世界連邦宣言自治体全国協議会（会長、山崎善也・綾部市長）は京都府宇治市で総会を開催。平成27年度事業・決算報告や平成28年度事業計画・予算案を審議しました。また、総会後には、立命館大学・国際関係学部から君島東彦教授を招き、研修会を開催しました。

当協議会は平成28年度総会を9月2日、京都府宇治市で開催。加盟自治体の首長や議長、関係職員のほか、来賓の

世界連邦推進日本協議会、世界連邦日本国会委員会の事務局関係者ら約20人が出席しました。



世界連邦運動の講演を行う君島教授

歴史から平和を学ぶ 君島教授講演会

総会後に開催した研修会には、約50人が参加し、立命館大学国際関係学部教授で学部長の君島東彦氏が「世界連邦運動の21世紀的かたち」と題して講演。君島教授には世界連邦運動の始まりから米ソ冷戦で迎える衰退、そして、21世紀の世界連邦運動のあり方などを歴史に沿ってお話しいただきました。



平和の思いイスラエル・パレスチナへ届け

今でも対立が続く中東の国イスラエルとパレスチナ。当協議会は、肉親をテロや紛争で亡くした双方の青少年の交流を通じてお互いを理解し、平和の大切さを認識してもらうことを目的に「中東和平プロジェクト」への補助を行っています。今年は和歌山県高野町において「中東和平プロジェクトin高野（会長、平野嘉也・高野町長）」が8月23日から28日まで実施されました。イスラエルとパレスチナから青少年各4人、引率各1人の計10人が来日。滞在中は双方の参加者が2人1組になり、浴衣の着付けや和太鼓、盆踊り、ホームステイに加え、高野町ならではの寺院巡り、宿坊体験なども行いました。

27日には「お別れ会・発表会」を開催。参加者は生まれ育つ

てきた環境や思い出、これからの中には「武力で世界は平和にならない」と発表する参加者もお

り、平和の「芽」が世界に芽吹いている感じることのできるプロ

ジェクトとなりました。

総会に参加した関係者はも

ちろん、市民らも世界連邦運動の歴史や重要性、世界で起

こっている問題について考

取り組みなどを紹介しました。

世界連邦宣言自治体全国協議会（事務局=京都府綾部市）〒623-8501綾部市若竹町8-1 TEL (0773) 42-4217 FAX (0773) 42-9405

いま、一つの世界を

自治体協新聞

発行
世界連邦宣言自治体
全国協議会
(事務局=京都府綾部市)
〒623-8501綾部市若竹町8-1
TEL (0773) 42-4217
FAX (0773) 42-9405

今年の総会は△平成27年度事業・決算報告▽平成28年度事業計画・予算案などが参加団体により承認されました。

「中東和平プロジェクト in 高野」開催！

今年は、世界連邦に関する国会決議やオバマ大統領の広島訪問など世界連邦運動の追い風となるニュースが多くある中で、山崎会長は「加盟自治体が一致団結して活動を開していくことが重要」と挨拶。「それぞれ『微力』であっても、決して『無力』ではない」と決意を示しました。続いて開催市の山本正宇治市長が挨拶し、宇治市での平和の取り組みなどを紹介しました。

総会に参加した関係者はもちろん、市民らも世界連邦運動の歴史や重要性、世界で起こっている問題について考

る良い機会となりました。

総会に参加した関係者はもちろん、市民らも世界連邦運動の歴史や重要性、世界で起こっている問題について考

る良い機会となりました。

総会に参加した関係者はもちろん、市民らも世界連邦運動の歴史や重要性、世界で起こっている問題について考

る良い機会となりました。

総会に参加した関係者はも

ちろん、市民らも世界連邦運動の歴史や重要性、世界で起

こっている問題について考

取り組みなどを紹介しました。

世界連邦宣言自治体全国協議会（事務局=京都府綾部市）

〒623-8501綾部市若竹町8-1

TEL (0773) 42-4217

FAX (0773) 42-9405

世界連邦・悲願の国会決議

5月25日参議院で成立

今年は、日本が国連に加盟して60周年。これを機として、5月25日に「世界連邦実現へ
の道の探求」の文言を明記した決議が、参議院本会議において全会一致で可決されました。

植一顧問、江田五月元顧問をはじめ、世界連邦運動に携わる多くの関係者の皆さまの長きにわたるご尽力が結実したものと、改めて感謝と敬意を表するところです。

この決議は、平成17年8月2日に衆議院本会議で決議され以来の悲願。「憲政の神様」と称される尾崎行雄翁が起草した世界連邦決議案から70年余を経て、ようやく国会の衆参両院で世界連邦に関する決議がなされたことになります。これは、世界連邦日本国會委員会の横路孝弘会長、谷垣

レベルでの世界連邦実現に向けた活動が展開されることが期待されます。また、地方自治体で構成する当協議会としても、改めて世界連邦の意義を確認し合うとともに、加えて促進を図りながら、関係機関との連携により、鋭意努力する必要があります。

自治体職員1人100円募金にご協力を！

円募金にご協力を
お礼申し上げます。



平成27年度の募金チラシより

次回の世界連邦

世界平和運動の1つの礎となり得ることを示唆いただきました。

バネルディスカッショントレーニングでは、松島氏に林民子氏（ソーシャルコンシエルジュ代表）、長沼敬憲氏（サイエンス・エディター）、井上英之氏（慶應義塾大学専任講師）の3人を加え、木戸寛孝氏（世界連邦21世紀フォーラム理事長）をモデレーターに熱く討論。ラ・イフスタイルの基盤となる「衣」、「食」、「住」の観点が、

パネルディスカッションの様子

れました

曰下部代子氏（世界連邦運動協会理事長）の挨拶の後、

★加盟促進について

当協議会の加盟自治体数は、平成の合併などの影響により、ピーク時の約250団体から大きく減少し、現在は59団体となっています。これは、世界連邦宣言自治体の4分の1程度に過ぎません。

世界連邦に関する国会決議がなされ、国と地方が連携しつつ世界連邦の実現に向けて取り組む必要がある中で、1つでも多くの自治体に当協議会に加盟いただき、ともに活動を進めていきたいと考えて

今年度は、非加盟自治体向
けに加盟促進依頼を行つたと
ころです。引き続き、皆さまの
ご理解・ご協力をお願いし
ます。

☆来年度の総会について

当協議会の平成29年度総会は、平成29年8月4日（金）に東京都三鷹市で開催する予定です。加盟自治体の多数のご出席をお願いします。

詳細が決まりましたら改めてご案内申し上げます。

和と難民救援のための自治体職員1人100円募金」を来年1月から行います。

国連にN H C E 協会と日本ニセフ協会へ寄託し、難民や病気、貧困に苦しむ子どもたちの救済などに役立てています。また、中東和平プロジェクトをはじめとする世界連邦・